



平成28年 2月18日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社  
代 表 者 名 代表取締役 谷 直 樹  
(コード番号：4579)  
問 合 せ 先 常務執行役員 河田 喜一郎  
(TEL. 052-446-6100)

**Aratana Therapeutics Inc. によるEP4拮抗薬の欧州承認申請並びに  
マイルストーン達成に伴う一時金受領のお知らせ**

平成28年2月17日（米国時間）、当社の導出先であるAratana Therapeutics Inc.（本社：米国カンザス州、以下「アラタナ社」）は、当社からアラタナ社へ導出したEP4拮抗薬（Galliprant®/grapiprant/RQ-00000007/AT-001、以下「Galliprant」）につきまして、動物薬としての欧州承認申請を行ったことを発表し、当社はマイルストーン達成に伴う一時金の受領が確定いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

今回のアラタナ社によるGalliprantの欧州承認申請により、欧州医薬品庁（EMA:European Medicines Agency）によるGalliprantの承認審査が開始されます。欧州では、EMAがヒト用医薬品及び動物用医薬品の承認審査を担当します。医薬品承認審査では、EMA科学委員会（EMA's Scientific Committee）による医薬品の評価が行われ、医薬品販売許可に関する意見を欧州での医薬品承認権限を持つ欧州委員会（European Commission）に対して表明します。

欧州委員会でGalliprantが承認された場合、アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェーを含むEU加盟国においてGalliprantの販売が可能になります。アラタナ社では、Galliprantの欧州での販売許可取得を2017年と見込んでいます。

Galliprantは、EP4拮抗薬によるイヌの変形性関節症に伴う痛みと炎症治療におけるファースト・イン・クラス（特定のメカニズムと適応症に属する医薬品群において、最初に開発上市された薬剤）の薬剤として位置づけられます。EP4拮抗薬であるGalliprantは、生体内で合成されるプロスタグランジンE<sub>2</sub>（PGE<sub>2</sub>）受容体の一つであるEP4受容体を選択的に阻害する作用を持つことから、慢性炎症性疼痛に有効であることが示されています。

当社は平成22年12月に、アラタナ社とEP4拮抗薬の動物用医薬品としての全世界における商用化に関する導出契約を締結しており、本件により当社は、マイルストーン達成に伴う一時金を受領し、平成28年12月期第1四半期会計期間の事業収益に計上します。なお具体的な収入等につきましては、契約上、非開示とさせていただきます。

なお、本件による平成28年12月期通期個別業績に対する影響につきましては、平成28年2月12日に公表した平成28年12月期（平成28年1月1日～平成28年12月31日）通期業績予想に変更はありません。

以 上

【ご参考】アラタナ社の発表内容の詳細は、アラタナ社のホームページをご覧ください。

<http://www.aratana.com/>